

U.S. Indicators

発表日: 2024年3月22日(金)

米国 拡大継続の中でインフレ再燃圧力(3月PMI速報)

～サービス業の減速により前月比で低下も14ヵ月連続で拡大を示す水準維持～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

24年3月のS&Pグローバル米国総合購買担当者指数(PMI)は、52.2(前月52.5)と前月比0.3%ポイント低下し、市場予想の52.2(筆者予想52.5)と一致した。拡大縮小の分岐点である50を14ヵ月連続で上回っており、3月総合PMIは、同統計調査対象企業活動、民間需要の拡大ペースの小幅鈍化を示している。

製造業は、国内需要の拡大や在庫調整の進展に伴う生産、雇用の上昇により、52.5(前月52.2)と前月比0.3%ポイント上昇し、拡大ペース加速を示した。一方、サービス業は、51.7(前月52.3)と前月比0.6%ポイント低下し、拡大ペースの鈍化を示した。ただし、内外での人の移動の活発化による需要の強まりを背景に14ヵ月連続で拡大縮小の分岐点である50を上回っており、緩やかな拡大基調を維持している。

総合新規受注は、製造業、サービス業がともに低下する形で52.1(前月52.3)と低下しており、需要拡大ペースの小幅鈍化を示した。他方、総合雇用は51.5(前月51.3)と小幅上昇し、雇用の増加ペース加速を示した。サービス業がコスト削減、ミスマッチを背景に51.2(前月51.2)と変わらずとなった一方、製造業が52.8(前月51.7)と上昇した。

インフレ関連では、総合投入価格指数が58.9(前月55.5)、総合産出価格指数が56.8(前月54.1)とともに上昇し、インフレ再燃圧力の高まりが示された。製造業では、投入価格指数が56.7(前月55.0)、産出価格指数が57.7(前月54.8)と上昇し、財価格の再上昇を示唆した。また、サービス業では、投入価格指数が59.3(前月55.6)、産出価格指数が56.6(前月53.9)と上昇し、サービス価格の上昇ペース加速を示唆した。

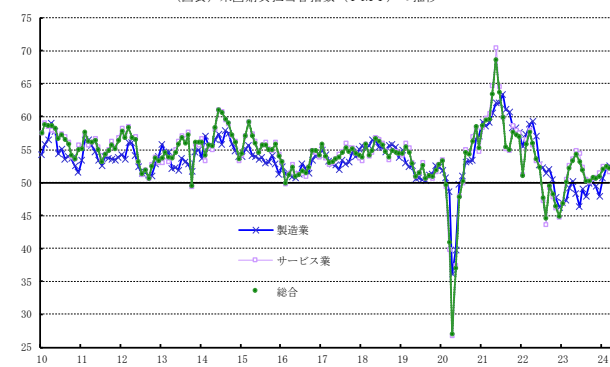
製造業では、新規受注が53.5(前月54.5)、在庫が47.2(前月51.8)と低下した一方、生産が54.9(前月53.5)、雇用が52.8(前月51.7)と上昇した。寄与度では、在庫が前月比▲0.46%ポイント、新規受注が前月比▲0.30%ポイントの押し下げ寄与となった一方、入荷遅延が前月比+0.52%ポイント、生産が前月比+0.33%ポイント、雇用が前月比+0.22%ポイントの押し上げ寄与となった。

サービス業では、活動指数が51.7(前月52.3)と低下した。観光・余暇需要が強まる一方、信用・金融状況の引き締め等による影響でサービス業の活動が鈍化した。また、新規受注が51.8(前月51.9)と小幅低下しており、目先需要の鈍化が続くことを示した。ただし、「将来の活動指数」が70.3(前月65.5)と高い水準に上昇しており、サービス関連企業は先行きに対して楽観的な見方を維持している。

総合PMIは、24年1-3月期に52.2と23年10-12月期の50.8から上昇し、24年入り後の民間需要の拡大ペース加速を示唆している。製造業が51.8(10-12月期49.1)と大幅に上昇したほか、サービス業が52.2(10-12月期50.9)と上昇した。

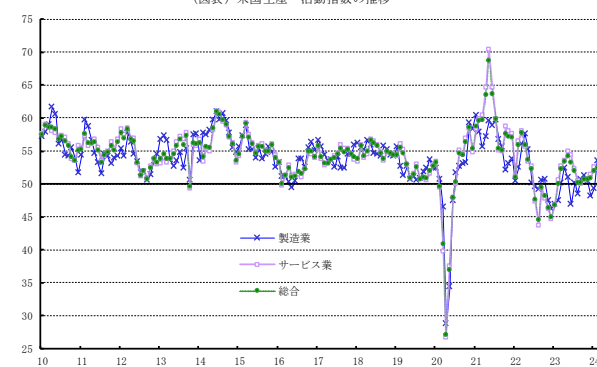


(図表) 米国購買担当者指数 (PMI) の推移



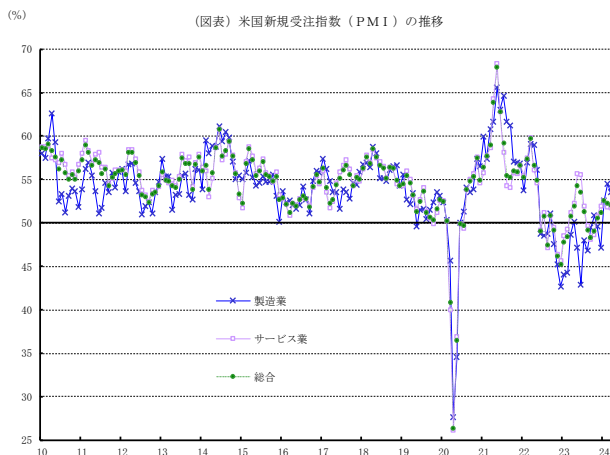
(出所) S&P Global

(図表) 米国生産・活動指数の推移



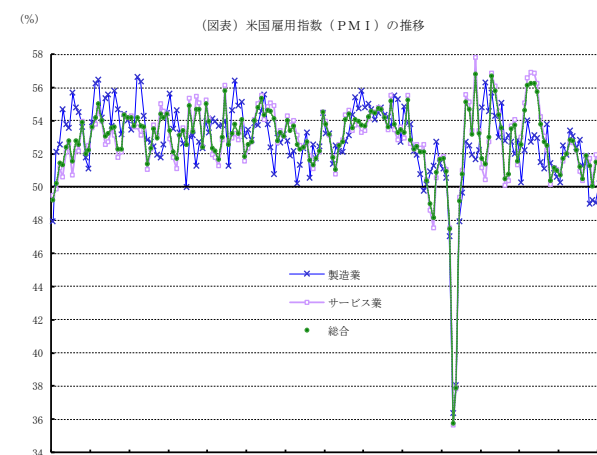
(出所) S&P Global

(図表) 米国新規受注指数 (PMI) の推移



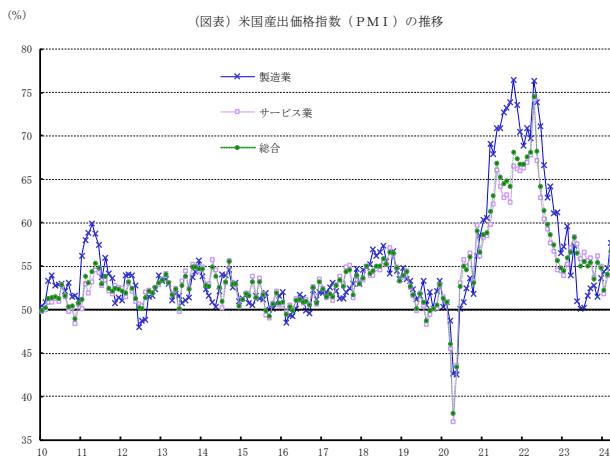
(出所) S&P Global

(図表) 米国雇用指数 (PMI) の推移



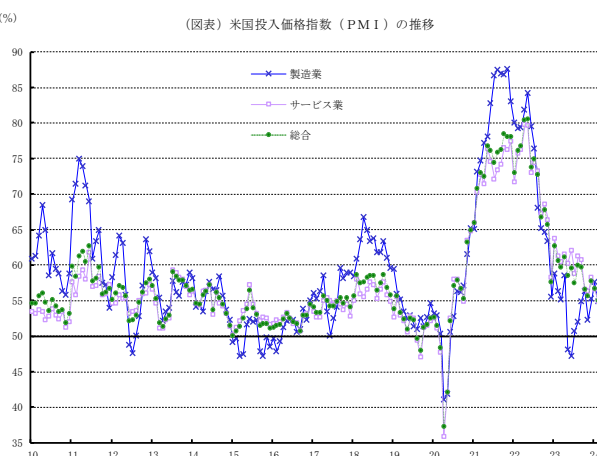
(出所) S&P Global

(図表) 米国産出価格指数 (PMI) の推移



(出所) S&P Global

(図表) 米国投入価格指数 (PMI) の推移



(出所) S&P Global

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。